

「文と文をつなぐ言葉」 2

組

番号前

★意味を考えてつなぎ言葉を使おう。

一. 次の問いに答えましょう。

① ぼくは、一生けんめいに漢字の勉強をした。だから、八十五点だった。

このときの気持ちに合う顔はどちらですか？

顔を○でかこみましょう。



② ぼくは、一生けんめいに漢字の勉強をした。しかし、八十五点だった。

このときの気持ちに合う顔はどちらですか？

顔を○でかこみましょう。



つなぎ言葉は、内容と内容のつながり方をはっきりさせるだけでなく、話し手や書き手の気持ちを表すことがあります。

二. 次の文の「 」には、だから、しかしのどちらでも入れることができます。次の場合

合はどちらのつなぎ言葉を入れたらよいでしょうか。だからしかしを選び○でかこ

みましょう。

① 徒競走で一生けんめい走った。「 」 二位だった。

ときようそう



ア 走るのは
苦手。
うれしい！

だから
しかし

イ 走るのは得
意なのに……
くやしい！

だから
しかし

② 今日の給食はカレーライスだった。「 」

ア カレーは
苦手なの

だから
しかし

イ カレー
大好き

だから
しかし

三. () に当てはまるつなぎ言葉を書き込みましょう。

おきなわ

① 明日から家族旅行で沖縄へ旅行する。

()

()、わくわくしている。

()、台風が近づいていて心配だ。



② 柿がたくさん実った。

かき



()

()、ほとんどしぶ柿だった。

()、家族で、柿をとることにした。

